様式３（2020.08改）

作成日　令和　3　年　2　月　27　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392300071
事業所名	グループホーム　ねこの手

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入している。コロナ禍ではあるが、回覧板が回ってきたり、地域の民生委員から情報を得ている。例年の地域行事や事業所の行事が中止になり、地域との交流が出来にくい環境であるが、近隣の方からサツマイモの差し入れがあり、お芋ご飯を作り入居者と季節を味わうことが出来た。職員は通勤時など近隣の方々と顔を合わせた時は必ず挨拶を交わすなど良い関係作りを継続している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	例年であれば家族や地域代表、民生委員、地域包括支援センター、市職員等が参加して年6回開催、同時に身体拘束適正化委員会も行われている。今年度はコロナウイルス感染予防対策のため、3月以降は書面での開催となっている。会議で上がった意見は検討しサービスの改善や運営に反映させている。会議資料は各メンバーに配布している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	介護保険認定手続きや更新代行などで担当窓口を訪れる際は担当者から情報を得たり，種々アドバイスや法令に関する変更事項等の指導を受けたりしているが、現在はコロナ禍のため、会議報告や行政からの連絡等は書面やメールでの送受信となり、アドバイスや助言は主に電話でのやり取りとなっている。行政からの研修も中止となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日常ケアの中で、色々な意見や要望を聞き、記録をしてミーティング等で話し合い、ケアや運営に反映させている。コロナ禍の中、家族の面会を控えていたが10月1日から検温やマスク、フェイスシールド等の対策をして居室で短時間の面会が行える様にした。面会時家族の意見や要望を聞き記録してミーティング等で話し合い、運営に反映させている。ねこの手通信を年4回発行し、ご意見箱を設置している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

【備考欄】

今年度はコロナ感染予防対策のため面会や外出等規制があり、様々な行事も中止になる中その時々に対応した対応で、ケアや運営に努めている。環境が整えば外出等楽しめる支援を実施する方針である。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										